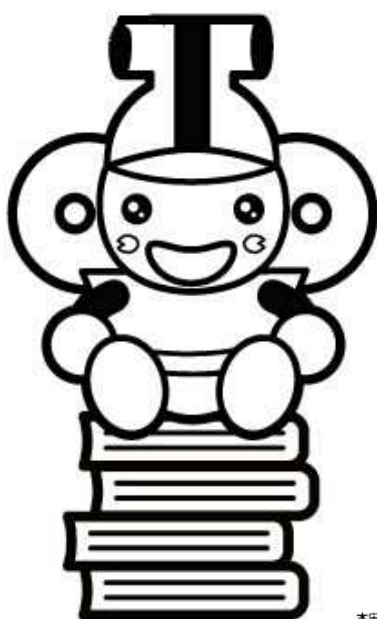


令和3年度 図書館要覧



本庄市マスコット
はにほん

本庄市立図書館

目 次

運営の基本方針・組織・機構	1
図書館の予算	2
図書館のあゆみ	3
利用の手引き	6
施設ガイド	7
移動図書館	11
郷土資料の特色	12
令和2年度事業報告	13
文芸講演会の記録	14
統 計	16
令和2年度貸出ベストリーダー	21
令和3年度雑誌リスト	23
令和3年度新聞リスト・図書館案内図	25
本庄市立図書館設置及び管理に関する条例	26
本庄市立図書館運営規則	28
本庄市立図書館協議会会議規則	30
図書館協議会委員	31

令和3年度 運営の基本方針・組織・機構

市民の文化的要望に応えるため、図書館資料や情報の整備・充実に努め、生涯学習施設として市民が気軽に利用できる図書館をめざす。

重点施策

I 図書館の整備と充実

- ① 図書館利用者の増加と蔵書の充実に努める。
- ② 施設の特性を活かした効果的な活用と利用促進を図る。
- ③ 安全・安心のための設備の点検と整備を推進する。

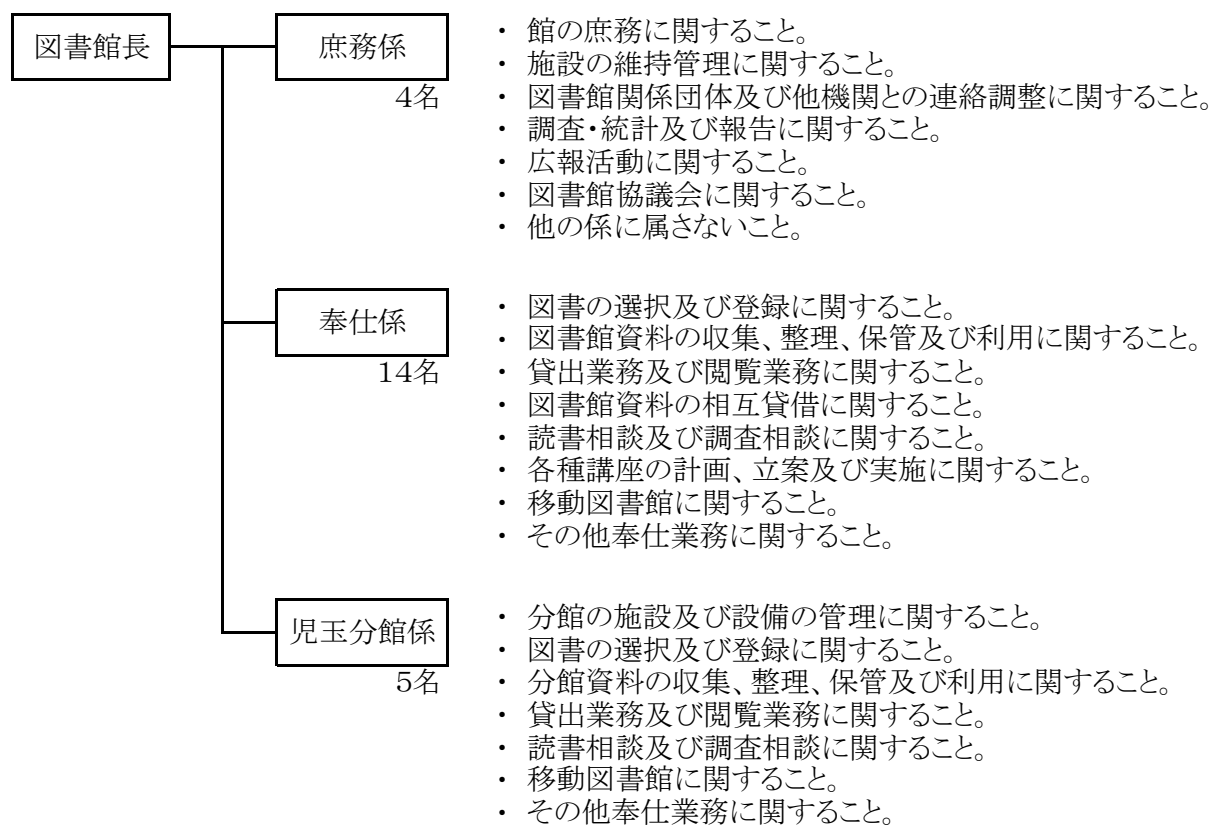
II 図書館サービス網の確立

- ① 学校図書館や関係機関との連携を図り、広域利用や相互協力を推進する。
- ② 読書グループやボランティア団体の育成を図り、団体貸出を推進する。

III サービス業務の充実

- ① レファレンスサービスをはじめ、幼児、児童、青少年向けサービスの充実に努める。

組織・機構



図書館の予算

(1) 図書館費の当初予算

(単位:千円)

	令和3年度	令和2年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度
市予算(一般会計)	28,313,000	28,634,000	28,427,000	27,651,000	28,373,000
教育費	2,983,486	3,152,996	3,091,414	3,251,863	2,811,239
図書館費	76,028	71,355	61,643	60,365	70,395

(2) 図書館費の当初予算の内訳

(単位:千円)

	令和3年度	令和2年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度
図書館費	76,028	71,355	61,643	60,365	70,395
報酬	3,134	4,211	75	75	149
報償費	296	296	1,200	1,185	1,227
旅費	125	98	55	60	65
需用費	10,285	8,724	7,959	7,533	12,076
役務費	6,551	5,199	5,193	5,170	1,230
委託料	7,753	10,246	10,035	9,325	17,408
使用料及び賃借料	4,551	4,525	4,557	4,516	5,864
工事請負費	0	0	0	0	0
公有財産購入費	0	0	0	0	0
備品購入費(図書費)	13,725	13,633	13,625	13,722	13,680
備品購入費(図書以外)	0	0	0	0	0
負担金補助及び交付金	37	37	37	37	37
賃金他(R2から給料)	29,571	24,386	18,907	18,742	18,659

(3) 市民1人当たり資料費

(単位:円)

資料費	令和3年度	令和2年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度
市民1人当たり資料費	200	199	199	198	197

図書館のあゆみ

年 月 日	事 項
昭和25. 9. 1	本庄小学校醇風館内に本庄公民館が設置され、図書部が置かれる。 蔵書数、約2, 000冊。
26. 10. 31	本庄公民館に埼玉県立図書館本庄分館を併設。
29. 7. 1	市制執行により本庄市となる。
33. 4. 1	本庄市立図書館を設置し図書館業務を開始。 (現在の歴史民俗資料館内に本庄公民館と併設される。)
36. 5	図書館協議会発足。
42. 7. 1	北原読書会が西小学校地域読書会として発足。以後、地域に波及。
44. 4	「図書館だより」を「市政だより」の一隅に掲載。
45. 1	本庄市良い本を読む運動推進委員会発足。 「家庭と読書」創刊。
45. 10.	第1回文学散歩“秋の信濃路”実施。
46. 1. 20	旧国保病院跡を改修し、独立館となる。蔵書数、19, 206冊。
47. 1	「母と子の部屋」を設置する。
48. 4	本庄市読書会連絡協議会発足。
49. 7	本庄市読書会児童文庫が、久々宇、仁手、千代田に開所し配本を開始。
49. 11. 2	本庄市読書会連絡協議会が社団法人読書推進運動協議会より第4回読書推進賞を受賞する。
49. 11.	古典講座「蜻蛉日記」開始。講師、坂上勇太郎氏。
52. 4	本庄東地区市民センターに「ミニ文庫」開設。
52. 12. 28	石川三四郎翁顕彰碑(若泉第二公園内)完成。
53. 7	本庄西地区、本庄南地区市民センターに「ミニ文庫」開設。
53. 10.	石川三四郎遺族より、蔵書3, 000冊が寄贈される。
54. 9. 1	石川三四郎記念室(旭山文庫)創設。
55. 7	本庄藤田地区市民センターに「ミニ図書室」設置。
55. 7.	新図書館工事のため、西小学校校庭内に仮設図書館を設置し移動。
55. 9. 1	本庄市立図書館新築工事着工。
55. 12.	「本庄付近のむかしばなし」刊行。
56. 11. 10	本庄市立図書館新館落成。
57. 1.	石川三四郎コーナー設置。
57. 4.	本庄旭地区市民センターに「ミニ図書室」設置。
57. 10.	こども1日図書館員企画。「ふるさと文庫」コーナーを設置。緑陰図書館開始。
57. 8. ~10	「復刻版・初版本で見る日本近代文学史展」開催。
59. 7. 18	パソコンによる図書館システム稼働。
59. 10.	第2回地方公共団体PC大会において「本庄市立図書館システム」が優秀賞を受賞。
59. 11.	市制施行30周年記念事業特別展「戸谷文庫と文人展」開催。
60. 3	「21世紀の時の旅人未来ちゃん」を図書館前庭に埋設。
60. 10	移動図書館車による運行開始。(軽貨物自動車、約300冊積載) 藤田、北泉公民館、南小、寿楽園、4ヶ所を運行。
61. 5. 29	本庄市立図書館の広報紙「家庭と読書」が昭和60年度埼玉県市町村教育委員会広報誌コンクールで優秀賞を受賞。
63. 5	「絵本原画展」開催。
63. 9.	移動図書館車の愛称が公募により「もくせい号」に決定。
平成元. 2. 3	新移動図書館車による運行開始。(26人乗りマイクロバス改造車、約3, 000冊積載))市内12ヶ所を運行。
元. 5.	「飛び出す絵本展」開催。

年 月 日	事 項
平成元. 10.	市制施行35周年記念「ふるさと文庫展」開催。
3. 2.	オフィスコンピューターによる図書館システム導入。
3. 5.	復刻童話雑誌展「おとぎの世界」開催。
3. 10～11	「本庄まつり版画原画展」、市内小学生対象「読書感想画展」開催。
4. 5	「世界の絵本展」開催。
4. 10～11	一周忌追悼「昭和の黙阿弥・宇野信夫展」、「読書感想画展」開催。
4. 10～11	「海外コレクション絵本展」開催。
6. 11.	「図書館音楽のタベ・チェロコンサートと朗読」開催。
7. 10～11	「こどもたちの絵本展」開催。
7. 11. 10	本庄市読書会連絡協議会が本庄市長より教育文化功労賞受賞（市政功労表彰）。
8. 1.	クライアント・サーバ方式による図書館システムL i c s - R 導入。
8. 10～11	「こどもたちの絵本展」開催。「早稲田大学図書館所蔵明治期図書展」開催。
9. 11	閉架室移動書架工事完成。
10. 12. 16	石川三四郎遺族より寄付金650万円受入。
11. 4. 1	児玉郡市広域市町村圏内広域利用開始。開館時間変更（午前9時30分～午後6時まで）
12. 3.	「石川三四郎資料目録」刊行。
12. 12.	図書館 システムL i c s - R II 導入。
13. 4. 1	児玉郡市内図書館の他に岡部町を含めた広域利用開始。
13. 4. 1	We bハウジングによる蔵書検索用ホームページを開設。
13. 7. 1	インターネットによる発注・MARK等業務上の活用を図る。
13. 9. 6	移動図書館車「もくせい号」の巡回場所として前原、日の出童センターの2カ所を増設する。計12ヶ所。
13. 10～11	図書館設立20周年記念展「知っていますか？ふるさとの人物展」開催。
14. 9.	ブックスタート準備事業開始。保健センターにて「読み聞かせ」と「利用案内」配布
14. 10～11	「ゾルゲ事件って何？映画『スパイ・ゾルゲ』と関連資料展」開催。
15. 4. 1	ディーゼル車の排気ガス規制により、移動図書館車「もくせい号」が廃車につき、軽貨物自動車ミニ移動図書館車として9ヶ所運行。
15. 11.	「この本よんだ？親から子へ語り継がれる図書展」開催。
16. 11.	図書館読書週間企画展「あの人を書いた本！～本庄ゆかりの人たちの著作展」開催。
17. 4	ブックスタート事業開始（絵本入りパックの配布は11月から）。
17. 11. 8～21	「明日、ふるさとになる町＜児玉＞展」開催 写真パネル等児玉関係資料等を展示。
18. 1. 10	本庄市・児玉町合併。本庄市立図書館が本館、児玉町立図書館が児玉分館となる。
18. 10. 1	図書館システムLOOKS21/P 導入。本庄本館と児玉分館のシステム統合。インターネットによる予約受付開始。
18. 11. 7～19	「こんな凄い偉人がいた『日本の良心』と呼ばれた男 石川三四郎展」開催。
19. 11. 7～18	「ふるさとが生んだ盲目の国学者 塙保己一展」開催。
20. 11. 8～18	「朔風の詩人 高橋秀一郎展」開催。
21. 7	新移動図書館車（約1,500冊積載）の愛称が公募により「ほきいち号」に決定。
21. 11. 6～13	「企画展 ほきいち号がやってきた！夢を運ぶ移動図書館車展」開催。
21. 11. 10	「ほきいち号」による運行開始。市内13ヶ所を運行。
22. 11. 17～28	「本庄ゆかりの文芸雑誌展」開催。
23. 3. 11～4. 14	東日本大震災発生（23.3.11）及びその後の計画停電に伴い、開館時間を午前9時30分から午後5時までに変更した。
23. 11. 16～27	本館30周年記念展「知っていますか、ふるさとの文学—詩とエッセイと本庄—」開催。
24. 10. 12～21	企画展「埼玉文芸賞と本庄」開催。
25. 11. 12～17	企画展「写真で見る石川三四郎の生涯」開催。
26. 6. 18	本館大規模改修工事の設計を委託（～27.3.30）
26. 10. 19～11. 2	企画展「繭市場と山車」開催。

平成 26.11.1～22	企画展「図書館員が選んだ子どもの本」開催。
27.9.19	本館大規模改修工事着工。
27.11.4	本館大規模改修工事のため、旧いまい台交流センターに仮図書館を開設。(～28.10.14)
28.10.31	本館耐震補強工事竣工。
29.1.21	本館リニューアルオープン。休日開館を実施。
29.7.1	図書館システムリプレイスによりADWORLDへ移行。
29.7.20	本館、木・金曜日午後8時まで時間延長。(試行)
29.11.14～24	企画展「中山道と本庄宿」～絵図から見る今と昔～開催。
30.4.1	雑誌スポンサー制度導入。
30.11.1～29	企画展「宮沢賢治の世界」開催。
令和 元.9.4～29	企画展示「トルコ共和国ってどんな国？」開催。
元.11.1～12.1	企画展「資料に見る 本庄のすがた」～江戸・明治・大正・昭和～開催。
2.4.6	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置により臨時休館。
～2.6.1	(児玉分館は4/6～6/15まで臨時休館。移動図書館車は4/6運行休止し9/1再開)。
2.4.23	本庄市立図書館が「子供の読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受賞。
2.11.5～29	本館、「埼玉誕生150周年記念」(埼玉県事業)に合わせ「ふるさと文庫」に所蔵する資料等を【魅力再発見・埼玉の本】として紹介。
2.11.5～29	本館、企画展「ポップアップ絵本の世界」と題し児童書を展示。
2.11.9	本庄おはなしの会連絡会が本庄市長より青少年健全育成成功労賞受賞(市政功労表彰)。
3.4.1	本館、貸出・返却等一部業務の時間延長を正式導入。(木・金曜日、午後8時まで開館)。

利用の手引き

はじめて本を借りる方へ

●利用者登録が必要です

登録できる方

- ・本庄市、美里町、神川町、上里町、深谷市にお住まいの方
- ・上記以外の地域から、本庄市内に通勤・通学している方
- ・本庄市内の学校・会社などで利用登録した団体



●貸出数・貸出期間

区分		貸出数	期間
本(雑誌、紙芝居を含む)	個人	10点以内	15日以内
	団体	50点以内	1月以内
CD、DVDなど	個人	1点	15日以内
	団体	—	—

●本の予約・リクエスト

- ・お探しの本が貸出中の場合は「予約」ができます。
- ・お読みにになりたい本を当館が所蔵していない場合は、「リクエスト」をしてください。他館から借用したり、購入したり、できる限りご希望にお応えします。

●開館時間

午前9時30分～午後6時15分

(本館のみ 木・金曜日 午前9時30分～午後8時)

●休館日

- ・月曜日(祝日の場合は開館し、翌祝日・休日でない日を休館)
- ・12月を除く月末日(土・日・月曜日および祝日の場合は翌祝日・休日でない日を休館)
- ・12月28日～1月4日
- ・特別整理期間

●調べものは

- ・お気軽に職員へお尋ねください。
- 国会図書館、県立図書館など全国の図書館の所蔵状況などを確認し、必要な資料を見つけるお手伝いをします。その資料を借りて貸出すこともできます。

●複写サービス

- ・本庄市立図書館が所蔵する資料に限り、必要なところを複写するサービス(有料)を行っています。
- ※著作権法により複写制限されるものがあります。



施設ガイド

■本館の1階フロア

赤ちゃんからお年寄りまで、すべての年代の人々に読んでいただける本が並んでいます。



建物	／	延べ床面積	2778.74㎡
構造	／	鉄筋コンクリート造	3階

ふるさと文庫



本庄市・児玉郡を中心とした郷土の歴史や風土に関するもの、著作などを集めた書架です。

雑誌コーナー



約80タイトルの雑誌が並んでいます。最新刊以外は貸出ししています。

児童室



子ども達が絵本や児童書を手に取り、親しんでもらえるよう工夫された、木のぬくもりに満ちた空間です。

情報検索コーナー



設置されている端末で、インターネットサイトを閲覧することができます。

おはなしコーナー、ヤングアダルトコーナー、視聴覚コーナーなどの特設コーナーがあります。

■本館の2階フロア

落ち着いた空間で、読書や調べものに取り組みます。



読書室



ゆっくりと読書を楽しむことができる閲覧席が、70席あります。

レファレンス室



郷土資料をはじめ行政資料、統計資料、辞書などが保管されています。職員が資料や参考図書のご案内や、調べもののお手伝いをいたします。

資料展示室



本庄市出身の社会思想家、石川三四郎の資料が展示、保管されています。明治、大正、昭和の社会運動史を知る上で貴重な資料です。

■本館の3階フロア

気軽に利用できる施設として、フロアがコミュニティーゾーンの機能を備えています。

3F



多世代交流室



利用者同士の交流や公衆 Wi-Fi の利用ができます。

和室



靴を脱いでゆったり過ごせるスペースです。読み聞かせなどを楽しむことができます。

中高生活動室



中高生の活動や、展示・情報収集に利用できます。

ウッドデッキ



天気の良い日にはウッドデッキで読書を楽しむなど、リラックススペースとして活用できます。

授乳やおむつ替えができる【赤ちゃんの駅】があります。

■児玉分館のフロア

児玉分館は、大きな窓の外にあるケヤキの木々が、四季折々の彩りをそえるワンフロアの施設です。
一般書架と児童書架が一緒の、アットホームな図書館です。



児玉分館内

児童書架

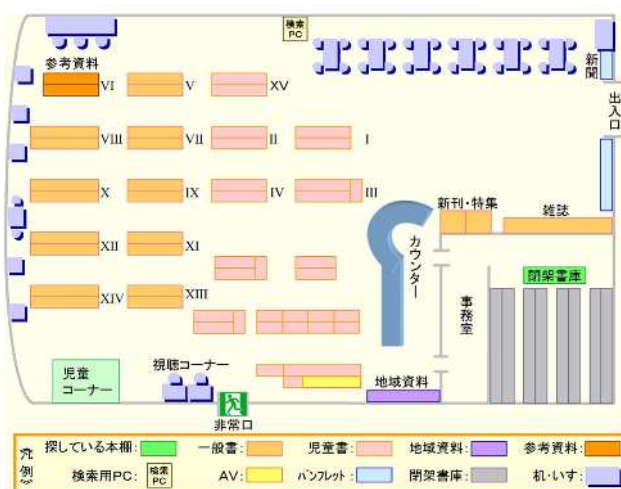


絵本や紙芝居など自由に選ぶことができます。

A V コーナー



CD、DVDを館内で視聴いただけます。ご希望により貸出もいたします。



建物 / 児玉文化会館セルディ内1階
面積 / 図書館面積 408.91㎡

移動図書館

市内の小学校をサービスポイントに、本をお届けしています。

■サービスポイント・駐車時間

サービスポイント	駐車時間
本庄東小学校	13:30 ~ 14:30
本庄西小学校	13:10 ~ 14:10
藤田小学校	13:30 ~ 14:30
仁手小学校	13:25 ~ 14:25
旭小学校	13:20 ~ 14:20
北泉小学校	13:00 ~ 14:00
本庄南小学校	13:30 ~ 14:30
中央小学校	13:30 ~ 14:30
児玉小学校	13:15 ~ 14:15
金屋小学校	13:30 ~ 14:30
秋平小学校	13:30 ~ 14:30
共和小学校	12:45 ~ 13:45

駐車時間は変更になることがあります。



●貸出数

区分	貸出数
本（紙芝居を含む）	10点

児童図書・一般図書を載せて運行しています。

●貸出期間

借りたサービスポイントの次回巡回日まで。

返却を本館・児玉分館にすることもできます。

はにぽんプラザのブックポストに返却することもできます。

●できること

図書の貸出・返却

リクエストや予約の受付

利用カード登録 など

●一般の方もご利用できます。



■車両概要

名称	ほきいち号
車両	専用移動図書館車
積載冊数	約1,500冊
	（平成21年11月から運行）

■巡回周期

市内各小学校 12校 月1回

郷土資料の特色

石川三四郎資料

石川三四郎について

1876年(明治9年)～1956年(昭和31年)80歳で死去。

石川三四郎は本庄市出身のアナーキストであり社会思想家。旧姓は五十嵐。別名・旭山、不尽。図書館では「石川三四郎資料室」を創設し、遺族より寄贈された三四郎の著作物のほか、直筆原稿・書簡などを常設展示しています。

石川三四郎は、1902年に記者として万朝報社に入社以来、堺利彦、幸徳秋水、木下尚江、内村鑑三、田中正造、福田英子、荒畑寒村等と運動を共にしながら、論説者・発行者・編集者として活躍しました。三四郎が残した月刊「ディナミック」(1929年発刊)他の資料は、散逸が激しく、残存資料が少ない時代の資料として、また、明治・大正・昭和のアナキズムの

流れを知る上での重要な資料となっています。また、海外脱出をした三四郎が出会った、カーペンター、ポール・ルクリュ、エリゼ・ルクリュ、他、学者、知識人との交友の記録も日本では数少ない大変貴重な資料です。

三四郎独自の思想形成に深い影響を与えた、約4,000点の石川三四郎関連資料は、国の内外から訪れる人々の研究に利用されています。



俳諧資料

戸谷双鳥について

1774年(安永3年)～1849年(嘉永2年)

江戸時代中後期武蔵国本庄宿において、中央俳壇と地方俳壇の媒介的役割をしつつ、蘭更、月居、一茶等の俳人と交流があった豪商です。本庄宿では戸谷家を中心に多くの俳人たちの交流がありました。当館には当時の俳諧資料(写)が約250点保存されています。



主な俳諧資料

- ・奉納其三集(蘭更)
- ・ありのとう(単兆)
- ・くろねぎ(長翠)
- ・さらば笠(一茶)
- ・せりのね(以鳩)
- ・はなのつと(鹿古)
- ・牛曳集(双鳥)
- ・せみ塚集(冥々)
- ・碩布発句集(逸淵)
- ・諸郡銘録
- ・小蓑庵月並草稿

『群書類従』

塙保己一について

1746年(延享3年)～1821年(文政4年)

江戸時代中期の国学者で、現在の児玉町保木野に生まれました。

7歳の時失明、15歳で江戸に出て国学を学びます。学問に精進した結果、学者としての名声も上がり、38歳で検校

(盲人の最高位)となります。

寛政5年(1793年)幕府保護のもとに江戸番町に和学講談所をたて、多くの門人を養成しました。またここを拠点に『群書類従』の編纂を行い、水戸藩からの『大日本史』の校正依頼をはじめ数々の資料等の編集事業を行いました。『群書類従』の編纂は貴重な古典籍が散逸していくのを嘆いた保己一が生涯をかけて取り組んだ一大事業で、記録や手紙にいたるまで数多くの資料を集めて、校訂・分類し、版木本666冊にして足かけ41年をかけて刊行し、文政2年(1819)に完成しました。保己一の残した数千にもおよぶ書物は今でも日本文学を研究するうえで欠かすことのできない貴重な資料となっています。



本庄出身者関連著作物を収集しています

新井 淳(映画俳優) 卜部喜太郎(弁護士) 小林菊重(詩人) 滝本金蔵(登別温泉開拓者) 竹越三叉(歴史学者) 長沼依山(童話作家) 茂木小平(養蚕家) 飯島貞(詩人) 四方田草炎(画家) 岡本潤(詩人) 宇野信夫(劇作家・演出家) 藤田三郎(詩人) 月村敏行(詩人・文芸評論家) 他、松崎移翠(詩人) 水島治平(郷土史家) 小暮雪堂(文人) 高田漣五郎(歌人) 本庄晋一(医師) 諸井恒平(実業家) 金井総兵衛稠共(算学) 他

令和2年度事業報告

一般対象

期 日	事 業 名	内 容	参加人数
9月～1月	読書講座(本館)	「伊勢物語」を読む(全5回) 講師:小林ミチ子 氏	延 70人
11月5日～ 11月29日	企画展示「埼玉誕生 150周年記念【魅力再 発見・埼玉の本】」(本 館)	2021年は埼玉県が誕生して150年となることから埼玉に関連する 著書の並ぶ「ふるさと文庫」で埼玉誕生150周年をPRし、「埼玉」 をより深く知ってもらった。	—

児童対象

期 日	事 業 名	内 容	参加人数
4月～2月	おはなし会	本館:毎月第2・4土曜日、児玉分館:毎月第2土曜日 絵本の読み聞かせや紙芝居を実施。	367人
4月～2月	ブックスタート(本館)	保健センターでの乳幼児9・10か月児健康相談時にブック スタートパック(絵本、コットンバッグ、パンフレット)を渡し た。	723人
4月～3月	絵本とわらべうたの おはなし会	本館:毎月第1木曜日、児玉分館:毎月第2水曜日 絵本の読み聞かせとわらべうたを歌う。	153人
6月～2月	出張おはなし会	市内各小学校の1年生を対象に学校でおはなし会を実 施。	737人
8月7日	夏休み手作り工作 教室(本館)	小学生を対象に工作「あるくおもちゃを作ろう」を実施。	16人
8月5日	DVD上映会(本館)	幼児・親子、小学生を対象にしたDVD上映会。 「どんねんないきもの」を午前、午後の2回上映。	20人
8月12日	おはなしのつどい (児玉分館)	セルディ和室において、わらべうた・絵本等の読み聞か せ、紙芝居・なぞなぞ・うたあそびなどを実施。	10人
9月19日	敬老の日特別企画 おはなし会(本館)	手遊び、絵本の読み聞かせ、紙芝居などを実施。	20人
11月5日～ 11月29日	企画展示「ポップアップ 絵本の世界」(本館)	ページを開くと絵がとびだすポップアップ絵本。図書館が 所蔵するポップアップ絵本を展示し、その魅力に触れても らった。	—
12月19日 ～12月25 日	ミニツリーのプレゼント (児玉分館)	来館した児童に職員手作りの「ミニツリー」をプレゼントし た。	55人
11月11日 3月23日	図書館見学(本館)	11/11旭小2年生(1クラス)、3/23いずみ保育所年長児が来 館し、絵本の読み聞かせや館内見学・本の貸出を行なった。	63人
10月8日 11月10日	図書館見学(児玉分 館)	10/8金屋小2年生(2クラス)、11/10児玉小2年生(3クラ ス)が施設見学を行なった。	138人

文芸講演会の記録

実施年月日	テ ー マ	講 師	会 場	参加人員
昭和57. 11.	小説を読むということ	河野 多恵子 (作家)	中央公民館	
昭和58. 2.	文献に基づく戦後における埼玉の文学	小林 鶴男 (県立浦和図書館長)	市立図書館	54
昭和58. 9. 25(日)	わが人生わが文学	上田 三四二 (作家)	市立図書館	48
昭和59. 12.	名も無き戦犯の妻たち ※1	上坂 冬子 (作家)	中央公民館	
昭和60. 3. 23(土)	「炎の谷」秩父事件始末記	下山 二郎 (郷土史家)	市立図書館	55
昭和60. 11. 9(土)	「斉藤茂吉」の晩年の師弟	田中 隆尚 (歌人・元群馬大学教授)	市立図書館	48
昭和61. 11.	生きる ※2	藤原 てい (作家)	中央公民館	
昭和62. 2. 7(土)	日本からみたフランス フランスからみた日本	井田 三夫 (慶応大学教授)	市立図書館	120
昭和62. 11. 28(土)	わたしが母からもらったもの ※3	西村 滋 (作家)	中央公民館	320
昭和63. 11. 12(土)	絵と人生	窪島 誠一郎 (信濃デッサン館主・文筆家)	市立図書館	180
平成元. 11. 25(土)	文壇雑学	山本 容朗 (文芸評論家)	市立図書館	100
平成 2. 10. 27(土)	私の詩と人生	大木 実 (詩人)	市立図書館	80
平成 3. 11. 30(土)	いのちの贈り物	重兼 芳子 (作家)	中央公民館	165
平成 4. 10. 24(土)	異色の画家・四方田草 炎の生涯	海老原 友忠 (美術評論家)	市立図書館	70
平成 5. 10. 9(土)	夏目漱石を読む	岡 三郎 (青山学院大学教授)	市立図書館	140
平成 6. 10. 8(土)	松尾芭蕉の実像を求めて	田中 義政 (与野市立図書館長)	市立図書館	98
平成 7. 10. 7(土)	漱石「坊っちゃん」を読む	半藤 一利 (作家)	市立図書館	115
平成 8. 10. 19(土)	城を見歩く楽しみ	片桐 幸雄 (前立教大学教授)	市立図書館	113
平成 9. 10. 19(土)	漱石書簡の魅力	紅野 敏郎 (早稲田大学名誉教授)	福祉会館	93
平成10. 11. 7(土)	源氏物語の魅力	冬木 格 (作家・格亭企画主宰)	市立図書館	106
平成11. 10. 30(土)	今、伝えたいこと ※4	山崎 朋子 (作家・女性史研究家)	本庄市役所	150

実施年月日	テーマ	講師	会場	参加人員
平成12. 10. 29(日)	モロッコの石川三四郎とその後	山口 晃 (駒沢大学講師・英語塾経営)	市立図書館	86
平成13. 10. 27(土)	小説「フィクション」を書く	関口 芙沙恵 (推理作家)	市立図書館	88
平成14. 11. 17(日)	縁切寺を素材とした時代小説	高木 侃 (大学教授)	市立図書館	92
平成15. 11. 22(土)	平家物語の女性たち	青木 美枝 (古典文学講座講師)	市立図書館	108
平成16. 11. 13(土)	漱石文学の中の家族関係	岡 三郎 (青山学院大学名誉教授)	市立図書館	108
平成17. 11. 19(土)	幕末の郷土『修羅の川』を生きた人々	関口 芙沙恵 (推理作家)	市立図書館	106
平成18. 11. 18(土)	石川三四郎企画展記念特別講演会	北沢 文武 (『石川三四郎と思想』の著者)	市立図書館	90
平成19. 11. 18(日)	宮中の食文化と日本の食事情	谷部 金次郎 (昭和天皇和食担当)	市立図書館	116
平成20. 11. 15(土)	60年代の詩と高橋秀一郎	郷原 宏 (詩人・文芸評論家)	市立図書館	91
平成21. 11. 8(日)	郷土から世界を見つめていた人 ヘンリーソローの日々	山口 晃 (駒沢大学講師・英語塾経営)	市立図書館	50
平成22. 11. 19(土)	文芸同人誌とこだま文学会	松本 鶴雄 (文芸評論家)	市立図書館	52
平成23. 11. 20(土)	みんなでいっしょ 連句のはなし	宇咲 冬男 (俳人・作家)	市立図書館	49
平成24. 10. 20(土)	『孤独の力』～詩人の作品をとおして	北畑 光男 (詩人)	市立図書館	60
平成25. 11. 7(日)	『石川三四郎の思想入門』～21世紀のものの考え方	岡 三郎 (青山学院大学名誉教授)	市立図書館	89
平成26. 11. 9(日)	漫画家と母親になって	アキヤマ 香 (漫画家)	市立図書館	74
平成28. 3. 5(土)	娘が語る詩人・吉野弘	久保田 奈々子 (詩人 吉野弘の長女)	J A ひびきの本店	94
平成29. 1. 28(土)	田島弥平と郷土の人々	関口 芙沙恵 (推理作家)	市立図書館	100
平成29. 11. 18(土)	中山道本庄宿	柴崎 起三雄 (郷土史家)	市立図書館	65
平成30. 11. 17(土)	宮沢賢治を読みなおすー「雨ニモマケズ」の読解ー	須藤 与志 (『泥塑賢治』の著者・元教員)	市立図書館	62
令和元. 11. 9(土)	「文学作品にみる本庄のすがた」～知らなかった本庄のこぼれ話あれこれ～	本田 豊 (武蔵野史学会代表・元埼玉県史編さん委員)	市立図書館	60

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催しなかった

- ※ 1. 2. 3 県立図書館との共催事業
- ※ 4 本庄市男女参画講演会との共催事業

統計早見表

令和2年度

蔵書数 246,898 点

●一般図書 120,259 冊

●児童図書 89,320 冊

(うち紙芝居 2,781 冊)

●資料図書 25,580 冊

●雑誌 8,348 冊

●AV資料 3,391 点

入館者数 92,012 人

年間図書館利用者数 58,268 人※

※貸出人数、催し物件数、レファレンス件数、コピー件数の合計

新規登録者 1,317 人

(うち12歳まで605人)

年間貸出点数 243,953 点

●一般図書 101,434 冊

●児童図書 124,884 冊

(うち紙芝居 4,840冊)

●資料図書 1,719 冊

●雑誌 12,977 冊

●AV資料 2,939 点

年間図書購入冊数 6,679

●一般図書 4,196 冊

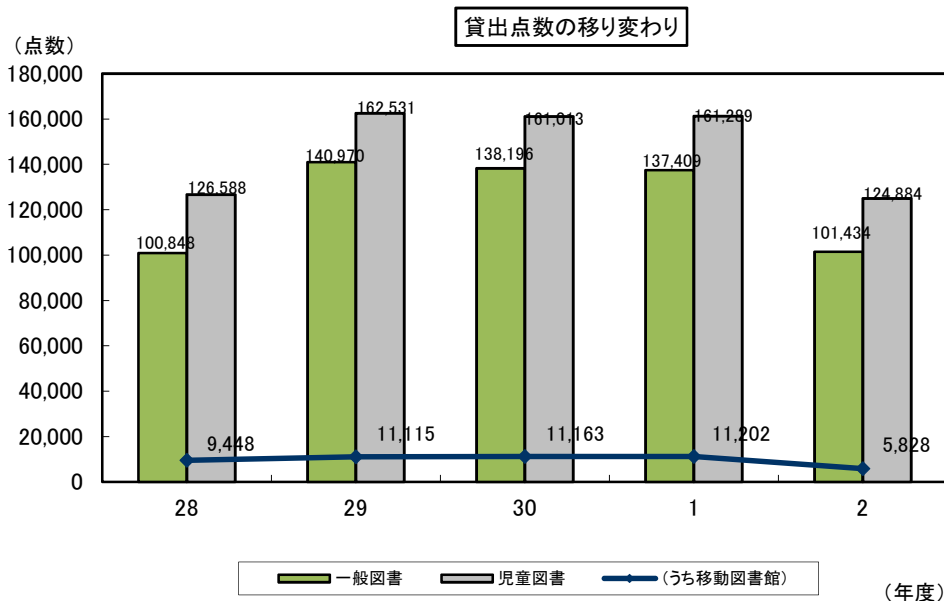
●児童図書 2,290 冊

(うち紙芝居 48冊)

●資料図書 193 冊

年間図書受入数 8,417 冊

年間除籍冊数 5,922 冊



年度別図書館指標

	令和2年度(※)			令和元年度			平成30年度			平成29年度			平成28年度		
市民1人当りの貸出点数	3.1	貸出点数	243,953	4.1	貸出点数	322,269	4.1	貸出点数	323,214	4.2	貸出点数	328,062	3.1	貸出点数	242,934
		人口	77,793		人口	78,022		人口	78,082		人口	78,550		人口	78,781
蔵書回転率	0.99	貸出点数	243,953	1.32	貸出点数	322,269	1.33	貸出点数	323,214	1.36	貸出点数	328,062	1.02	貸出点数	242,934
		蔵書数	246,898		蔵書数	244,015		蔵書数	242,342		蔵書数	240,691		蔵書数	238,518
市民1人当りの図書購入冊数	0.086	年間購入冊数	6,679	0.092	年間購入冊数	7,177	0.098	年間購入冊数	7,647	0.096	年間購入冊数	7,558	0.113	年間購入冊数	8,863
		人口	77,793		人口	78,022		人口	78,082		人口	78,550		人口	78,781
市民1人当りの資料点数	3.2	蔵書冊数	246,898	3.1	蔵書冊数	244,015	3.1	蔵書冊数	242,342	3.1	蔵書冊数	240,691	3.0	蔵書冊数	238,518
		人口	77,793		人口	78,022		人口	78,082		人口	78,550		人口	78,781
市民1人当りの資料費	213	資料購入費	16,570,233	198	資料購入費	15,433,082	198	資料購入費	15,483,154	196	資料購入費	15,390,244	239	資料購入費	18,807,630
		人口	77,793		人口	78,022		人口	78,082		人口	78,550		人口	78,781
職員1人当りの貸出点数	12,840	貸出点数	243,953	16,962	貸出点数	322,269	17,956	貸出点数	323,214	18,226	貸出点数	328,062	15,183	貸出点数	242,934
		職員数	19		職員数	19		職員数	18		職員数	18		職員数	16
1日平均貸出点数	996	貸出点数	243,953	1,115	貸出点数	322,269	1,115	貸出点数	323,214	1,127	貸出点数	328,062	880	貸出点数	242,934
		開館日数	245		開館日数	289		開館日数	290		開館日数	291		開館日数	276
貸出コスト	596	図書館総経費	145,324,527	396	図書館総経費	127,733,996	393	図書館総経費	126,990,932	387	図書館総経費	127,090,766	2,591	図書館総経費	629,498,257
		貸出点数	243,953		貸出点数	322,269		貸出点数	323,214		貸出点数	328,062		貸出点数	242,934
1日の経費	593,161	図書館総経費	145,324,527	441,986	図書館総経費	127,733,996	437,900	図書館総経費	126,990,932	436,738	図書館総経費	127,090,766	2,280,791	図書館総経費	629,498,257
		開館日数	245		開館日数	289		開館日数	290		開館日数	291		開館日数	276

(※)令和2年度について

本庄市人口(令和3年3月31日現在) 77,793人

開館日数(令和2年度) 本館245日 児玉分館232日

・1日あたりのデータについては開館日数が多い、本館のもの(245日)で算出

・資料購入費、図書館総経費は見込み額

蔵書構成表

●図書

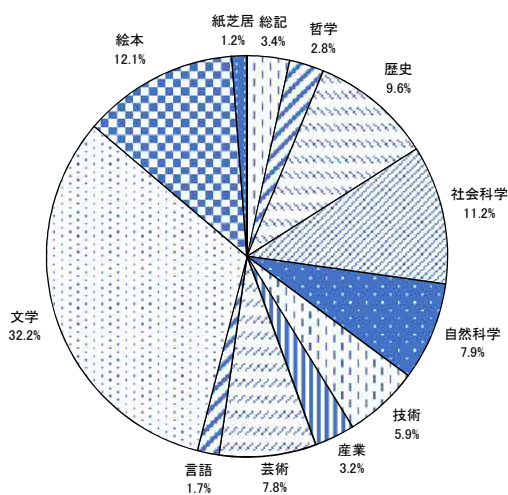
	令和2年度					令和元年度					平成30年度				
	一般 冊	児童 冊	資料 冊	計 冊	%	一般 冊	児童 冊	資料 冊	計 冊	%	一般 冊	児童 冊	資料 冊	計 冊	%
総記	2,857	1,452	3,514	7,823	3.4	2,789	1,464	3,501	7,754	3.3	2,844	1,469	3,562	7,875	3.4
哲学	4,917	723	720	6,360	2.8	4,790	699	707	6,196	2.7	4,856	680	696	6,232	2.7
歴史	11,188	3,868	7,344	22,400	9.8	11,173	3,865	7,192	22,230	9.6	11,102	3,740	7,105	21,947	9.5
社会科学	14,249	4,740	6,632	25,621	11.2	14,198	4,709	6,539	25,446	10.9	14,082	4,550	7,074	25,706	11.1
自然科学	8,364	9,009	735	18,108	7.9	8,149	8,874	731	17,754	7.6	7,981	8,700	908	17,589	7.6
技術	9,660	3,180	985	13,825	6.0	9,562	3,190	959	13,711	5.9	9,313	3,195	1,025	13,533	5.9
産業	4,440	1,999	956	7,395	3.2	4,413	2,006	932	7,351	3.2	4,348	1,961	1,019	7,328	3.2
芸術	11,352	5,093	1,417	17,862	7.8	11,651	5,141	1,374	18,166	7.8	11,406	5,011	1,365	17,782	7.7
言語	2,537	1,061	413	4,011	1.8	2,522	1,056	404	3,982	1.7	2,478	1,042	415	3,935	1.7
文学	44,087	26,683	2,861	73,631	32.2	49,855	26,458	2,811	79,124	34.0	50,265	25,918	2,775	78,958	34.2
絵本	0	28,713	0	28,713	12.6	0	28,166	0	28,166	12.1	0	27,408	0	27,408	11.9
紙芝居	0	2,800	0	2,800	1.2	0	2,784	0	2,784	1.2	0	2,749	0	2,749	1.2
その他	0	0	1	1	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0	37	37	0.0
計	113,651	89,321	25,578	228,550	100.0	119,102	88,412	25,150	232,664	100.0	118,675	86,423	25,981	231,079	100.0

●雑誌

(冊)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
合計	8,348	8,178	8,097

蔵書構成(図書)



●視聴覚資料

(点)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
C D	2,129	1,977	1,788
L D・D V D	651	574	517
ビデオ	514	539	540
C T	37	20	24
その他	1	0	0
計	3,332	3,110	2,869

●障害者サービス資料

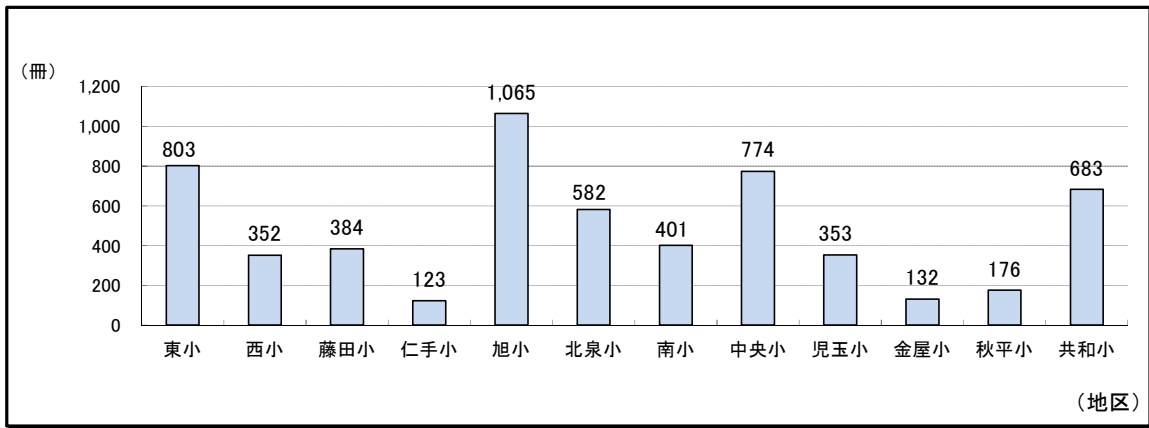
録音資料	11	タイトル	17	点
点字資料	222	タイトル	696	冊

移動図書館利用状況

* 団体貸出を除く

地区名		東小地区	西小地区	藤田小地区	仁手小地区	旭小地区	北泉小地区		
利用人数	一般	8	0	1	4	9	5		
	児童	432	171	198	60	519	335		
	合計(人)	440	171	199	64	528	340		
貸出冊数	一般	30	3	25	11	20	1		
	児童	643	321	337	107	949	506		
	紙芝居	130	28	22	5	96	75		
	合計(冊)	803	352	384	123	1,065	582		
地区名		南小地区	中央小地区	児玉小地区	金屋小地区	秋平小地区	共和小地区	合計	
利用人数	一般	0	0	0	2	8	0	37	
	児童	278	475	189	117	85	231	3,090	
	合計(人)	278	475	189	119	93	231	3,127	
貸出冊数	一般	9	14	17	1	19	11	161	
	児童	375	671	301	119	144	614	5,087	
	紙芝居	17	89	35	12	13	58	580	
	合計(冊)	401	774	353	132	176	683	5,828	

移動図書館貸出冊数



広域利用状況

自治体名	利用者区分	利用者人数	貸出数		
			図書資料及び雑誌	AV資料等	合計
上里町	児童	172	9,589	271	9,860
	一般	1,968			
	合計	2,140			
美里町	児童	81	3,436	15	3,451
	一般	540			
	合計	621			
神川町	児童	102	3,990	129	4,119
	一般	850			
	合計	952			
深谷市	児童	133	3,117	115	3,232
	一般	655			
	合計	788			
合計	児童	488	20,132	530	20,662
	一般	4,013			
	合計	4,501			

● 参考調査業務状況

	口頭・読書案内 件	電話・文書 件	合計 件	1日平均件数 件
2年度	2,261	17	2,278	9.3
元年度	3,419	39	3,458	12.0
30年度	3,961	34	3,995	13.8

● 相互貸借冊数

借		受			
	一般図書 冊	児童図書 冊	雑誌 冊	資料他 冊	合計 冊
2年度	1,225	88	5	0	1,318
元年度	1,599	51	8	1	1,659
30年度	1,768	49	5	2	1,824
貸		出			
	一般図書 冊	児童図書 冊	雑誌 冊	資料他 冊	合計 冊
2年度	1,948	393	66	44	2,451
元年度	1,897	354	18	40	2,309
30年度	1,786	261	30	55	2,132

● AV館内利用状況

	児童 人	一般 人	合計 人	回数 回	1日平均人数 人
2年度	2	3	5	354	0
元年度	240	198	438	354	2
30年度	529	195	724	524	2

● コピーサービス枚数

	2年度 枚	元年度 枚	30年度 枚	29年度 枚
枚数	2,049	3,640	4,221	4,662
1日平均	8	13	15	16

● ホームページ利用状況(アクセス数)

	2年度	元年度	30年度	29年度
アクセス数	35,671	32,437	33,316	37,190
月平均	2,973	2,703	2,776	3,099

開館日数(令和2年度) 本館245日 児玉分館232日
 ※1日あたりのデータについては開館日数が多い、本館のもの(245日)で算出

令和2年度 貸出ベストリーダー

本館一般書ベスト20

順位	タイトル	著者	出版社
1	危険なビーナス	東野 圭吾	講談社
	クスノキの番人	東野 圭吾	実業之日本社
3	黒武御神火御殿	宮部 みゆき	毎日新聞出版
	ライオンのおやつ	小川 糸	ポプラ社
5	るるぶ埼玉 '21		JTBパブリッシング
	少年と犬	馳 星周	文藝春秋
	流浪の月	凧良 ゆう	東京創元社
8	希望の糸	東野 圭吾	講談社
9	きたきた捕物帖	宮部 みゆき	PHP研究所
10	蜜蜂と遠雷	恩田 陸	幻冬舎
11	反日種族主義	李 栄薫	文藝春秋
	流人道中記 上・下巻	浅田 次郎	中央公論新社
13	コンビニ人間	村田 沙耶香	文藝春秋
	逆ソクラテス	伊坂 幸太郎	集英社
15	カケラ	湊 かなえ	集英社
	清明	今野 敏	新潮社
17	妖(あやかし)の掟	誉田 哲也	文藝春秋
	家族じまい	桜木 柴乃	集英社
19	ラプラスの魔女	東野 圭吾	KADOKAWA
	人魚の眠る家	東野 圭吾	幻冬舎

本館児童書ベスト20

順位	タイトル	著者	出版社
1	きんぎょがにげた	五味 太郎	福音館書店
2	11ぴきのねこ	馬場 のぼる	こぐま社
3	からすのパンやさん	かこ さとし	偕成社
4	まるくておいしいよ	こにし えいこ	福音館書店
5	がたんごとんがたんごとん	安西 水丸	福音館書店
6	わたしのワンピース	にしまき かやこ	こぐま社
7	くいしんぼうのはなこさん	いしい ももこ	福音館書店
8	おつきさまこんばんは	林 明子	福音館書店
9	おふろだいすき	松岡 享子	福音館書店
	11ぴきのねこどろんこ	馬場 のぼる	こぐま社
	ぐりとぐら	中川 李枝子	福音館書店
12	ぞうくんのさんぽ	なかの ひろたか	福音館書店
13	もこもこもこ	谷川 俊太郎	文研出版
14	しろくまちゃんのほっとけーき	わかやま けん	こぐま社
15	かいけつゾロリのメカメカ大さくせん	原 ゆたか	ポプラ社
16	よこむいてにこっ	高畠 純	絵本館
17	ねずみくんのチョコキ	なかえ よしを	ポプラ社
	じゃあじゃあびりびり	まつい のりこ	偕成社
	11ぴきのねことあほうどり	馬場 のぼる	こぐま社
20	11ぴきのねことぶた	馬場 のぼる	こぐま社

令和2年度 貸出ベストリーダー

分館一般書ベスト20

順位	タイトル	著者	出版社
1	医者が教える食事術最強の教科書	牧田 善二	ダイヤモンド社
	みそ玉	村上 祥子	永岡書店
	おいしい野菜がたくさんできる！ 土・肥料の作り方・使い方	原 由紀子	西東社
4	ゼロトレ	石村 友見	サンマーク出版
	ひと目でわかる！庭木の剪定	村越 匡芳	池田書店
6	ツナグ	辻村 深月	新潮社
	カインの傲慢	中山 七里	KADOKAWA
8	群馬 '21		昭文社
	ミニマリストの愛用品		宝島社
	材料を袋に入れるだけで、定番の冷凍食品がおうちでできた！	新谷 友里江	学研プラス
	君に読ませたいミステリがあるんだ	東川 篤哉	実業之日本社
12	白内障・緑内障・黄斑変性症を自力でぐんぐん治すコツがわかる本	高山 東洋	主婦の友インフォス
	ちょっとフレンチなおうち仕事	タサン志麻	ワニブックス
	毒島刑事最後の事件	中山 七里	幻冬舎
	大名倒産 上	浅田 次郎	文藝春秋
	魔力の胎動	東野 圭吾	KADOKAWA
	猫君	畠中 恵	集英社
	おいしくて泣くとき	森沢 明夫	角川春樹事務所
	ルポ車上生活	NHKスペシャル取材班	宝島社
19	放っておくとこわい症状大全	秋津 壽男	ダイヤモンド社

分館児童書ベスト20

順位	タイトル	著者	出版社
1	はらぺこあおむし	エリック=カール	偕成社
2	おつきさまこんばんは	林 明子	福音館書店
	おおきなかぶ	A. トルストイ	福音館書店
4	ぐりとぐら	中川 李枝子	福音館書店
	がたんごとんがたんごとんざぶんざぶん	安西 水丸	福音館書店
6	くだもの	平山 和子	福音館書店
	てぶくろ	エウゲーニー・M・ラチョフ	福音館書店
8	ナンタンおはよう	キヨノ サチコ	偕成社
	アンパンマンとなかまたち	やなせ たかし	フレーベル館
	名探偵コナン理科ファイル動物の秘密	青山 剛昌	小学館
	しょうがくせいのおばけずかん	斉藤 洋	講談社
12	もこもこもこ	谷川 俊太郎	文研出版
	いちごです	川端 誠	文化出版局
	メロンパンナのぐーぐーぐー	やなせ たかし	フレーベル館
	くまのコールテンくん	ドン=フリーマン	偕成社
	オリンピックのおばけずかん	斉藤 洋	講談社
	名探偵コナン推理ファイル人類の謎	青山 剛昌	小学館
17	ゆうたはともだち	きたやま ようこ	あかね書房
	ナンタンいないいいない	キヨノ サチコ	偕成社
	うみのおばけずかん	斉藤 洋	講談社

令和3年度 雑誌リスト

一般		発行	保存	出版社	所蔵(本館)	所蔵(分館)	
ア	1	AERA	週刊	1年	朝日新聞出版	一般室	
	2	あした	隔月	永年	あしたの会	一般室	
	3	an・an	週刊	1年	マガジンハウス		○
	4	with	月刊	1年	講談社	一般室	
	5	VERY	月刊	1年	光文社	一般室	
	6	潮	月刊	2年	潮出版社		○
	7	栄養と料理	月刊	2年	女子栄養大学出版部	一般室	
	8	ESSE	月刊	2年	扶桑社	一般室	
	9	LDK	月刊	2年	晋遊舎	一般室	
	10	男の隠れ家	月刊	1年	三栄書房		○
	11	おとなの週末	月刊	1年	講談社	一般室	
	12	オレンジページ	月2	2年	オレンジページ	一般室	○
	カ	13	音楽の友	月刊	1年	音楽之友社	一般室
14		CAR and DRIVER	月刊	1年	ダイヤモンド社	一般室	
15		会社四季報	季刊	2年	東洋経済新報社	カウンター	
16		かぞくのじかん	季刊	2年	婦人之友社	一般室	
17		家庭画報	月刊	1年	世界文化社	一般室	○
18		キネマ旬報	月2	1年	キネマ旬報社	一般室	
19		CAPA	月刊	1年	ワン・パブリッシング	一般室	
20		きょうの健康	月刊	2年	NHK出版	一般室	○
21		きょうの料理	月刊	2年	NHK出版	一般室	○
22		暮らしの手帖	隔月	永年	暮らしの手帖社	一般室	○
23		暮らしの手帖(別冊)	不定	永年	暮らしの手帖社	一般室	
24		クロワッサン	月2	1年	マガジンハウス	一般室	
サ		25	芸術新潮	月刊	5年	新潮社	一般室
	26	月刊クーヨン	月刊	1年	クレヨンハウス	一般室	
	27	Get Navi	月刊	1年	学研パブリッシング	一般室	
	28	現代農業	月刊	2年	農山漁村文化協会	一般室	
	29	国文学解釈と鑑賞<2011年10月号まで>	月刊	永年	ぎょうせい	雑誌閉架	
	30	こどもとしょかん	季刊	永年	東京こども図書館	一般室	
	31	こどもの図書館	月刊	永年	児童図書館研究会	一般室	
	32	子どもの本棚<2002年11月号まで>	月刊	永年	日本子どもの本研究会	雑誌閉架	
	33	この本読んで!	季刊	永年	出版文化産業振興財団	一般室	
	34	ゴルフダイジェスト	月刊	1年	ゴルフダイジェスト社		○
	35	碁ワールド	月刊	1年	日本棋院	一般室	
	36	サライ	月刊	1年	小学館	一般室	
	タ	37	JTB時刻表	年4	1年	JTBパブリッシング	カウンター
38		週刊朝日	週刊	1年	朝日新聞出版	一般室	
39		週刊新潮	週刊	1年	新潮社	一般室	
40		週刊東洋経済	週刊	1年	東洋経済新報社	一般室	
41		週刊文春	週刊	1年	文藝春秋	一般室	
42		出版ニュース<2019年3月21日号まで>	旬刊	2年	出版ニュース社	雑誌閉架	
43		趣味の園芸	月刊	2年	NHK出版	一般室	○
44		ジュリスト	月刊	5年	有斐閣	一般室	
45		将棋世界	月刊	1年	日本将棋連盟	一般室	
46		すてきにハンドメイド	月刊	2年	NHK出版	一般室	○
47		Sports Graphic Number	隔週	1年	文藝春秋	一般室	○
48		住まいの設計	隔月	2年	扶桑社	一般室	
49		世界	月刊	1年	岩波書店	一般室	
50	装苑	隔月	1年	文化出版局	一般室		
51	壮快	月刊	1年	マキノ出版		○	
タ	52	ダ・ヴィンチ	月刊	2年	KADOKAWA	一般室	○
	53	旅の手帖	月刊	1年	交通新聞社	一般室	
	54	たまごクラブ	月刊	1年	ベネッセコーポレーション	一般室	
	55	短歌	月刊	1年	角川グループパブリッシング	一般室	
	56	CHANTO<2020年4月号まで>	月刊	1年	主婦と生活社		○
	57	中央公論	月刊	1年	中央公論新社	一般室	
	58	つり人	月刊	1年	つり人社	一般室	
	59	ディズニーフアン	月刊	2年	講談社	一般室	
	60	天文ガイド	月刊	1年	誠文堂新光社	一般室	

	61	特選街	月刊	1年	マキノ出版			○
	62	driver	月刊	1年	八重州出版			○
ナ	63	NATIONAL GEOGRAPHIC	月刊	1年	日経ナショナルジオグラフィック社	一般室		
	64	日経トレンディ	月刊	1年	日経BP社			○
	65	日経PC21	月刊	1年	日経BP社	一般室		
	66	日経マネー	月刊	1年	日経BP出版センター	一般室		○
	67	日本カメラ<2021年5月号まで>	月刊	1年	日本カメラ社	一般室		○
	68	ニューズウィーク日本版	週刊	1年	CCCメディアハウス	一般室		
	69	Newton	月刊	1年	ニュートンプレス	一般室		
ハ	70	俳句あるふぁ	季刊	2年	毎日新聞社	一般室		
	71	母の友	月刊	2年	福音館書店	一般室		
	72	ハルメク	月刊	2年	ハルメク	一般室		
	73	BE-PAL	月刊	1年	小学館	一般室		
	74	ひよこクラブ	月刊	1年	ベネッセコーポレーション	一般室		
	75	不死鳥	隔月	永年	本庄短歌会	一般・閉架		○
	76	婦人公論	月2	1年	中央公論新社	一般室		○
	77	武道	月刊	2年	日本武道館	一般室		
	78	部落解放	月刊	1年	解放出版社	一般室		
	79	PLUS 1 LIVING<2019年夏号まで>	季刊	2年	主婦の友社	雑誌閉架		
	80	BRUTUS	月2	1年	マガジンハウス	一般室		
	81	PRESIDENT	隔週	1年	プレジデント社	一般室		
	82	文化財	月刊	5年	第一法規	一般室		
	83	文芸埼玉	年2	永年	さいたま文学館	一般室		○
	84	文藝春秋	月刊	1年	文藝春秋	一般室		○
マ	85	Mart	月刊	1年	光文社			○
	86	武蔵野ペン	季刊	永年	川越ペンクラブ	一般室		
	87	MOE	月刊	2年	白泉社	一般室		
	88	やさいの時間	隔月	2年	NHK出版	一般室		
ヤ	89	山と溪谷	月刊	1年	山と溪谷社	一般室		○
	90	ゆうゆう	月刊	1年	主婦の友社			○
	91	raifu	月刊	2年	有限会社シンクリード	一般室		
ラ	92	LIVES	隔月	2年	株式会社第一プロダクト	一般室		
	93	LEE	月刊	1年	集英社			○
	94	旅行読売	月刊	1年	旅行読売出版			○
	95	林間	月刊	永年	林間短歌会	一般室		
	96	歴史街道	月刊	1年	PHP研究所	一般室		○

児童

	1	かがくのとも	月刊	永年	福音館書店	児童室		○
	2	子供の科学	月刊	2年	誠文堂新光社	児童YA		
	3	こどものとも	月刊	永年	福音館書店	児童室		○
	4	こどものとも0.1.2	月刊	永年	福音館書店	児童室		○
	5	サンチャイルドビッグサイエンス	月刊	5年	チャイルド本社	児童室		
	6	SEVENTEEN	月刊	1年	小学館	児童YA		
	7	たくさんのふしぎ	月刊	永年	福音館書店	児童室		
	8	ちいさなかがくのとも	月刊	永年	福音館書店	児童室		
	9	non・no	月刊	1年	集英社	児童YA		○
	10	FINE BOYS	月刊	2年	日之出出版	児童YA		

図書館関係

	1	現代の図書館	季刊	永年	日本図書館協会	雑誌閉架		
	2	図書館雑誌	月刊	永年	日本図書館協会	雑誌閉架		
	3	図書館の学校	季刊	永年	図書館復興財団	雑誌閉架		
	4	みんなの図書館	月刊	永年	教育史料出版会	雑誌閉架		

館内利用

	1	埼玉県議会会議録	季刊	5年	埼玉県議会	雑誌閉架		
	2	埼玉県史研究<2000年3月号まで>	随時	永年	埼玉県民部	雑誌閉架		
	3	埼玉史談	季刊	永年	埼玉県郷土文化会	雑誌閉架		
	4	埼玉自治<2005年5月号まで>	月刊	永年	埼玉県自治研究会	雑誌閉架		
	5	埼玉タイムス<1997年3月号まで>	月刊	永年	週刊埼玉タイムス	雑誌閉架		
	6	スポーツ埼玉<2004年まで>	季刊	永年	埼玉県体育協会	雑誌閉架		
	7	短歌文学<1983年12月号まで>	随時	永年	短歌文学社	雑誌閉架		
	8	利根<2010年3月号まで>	月刊	永年	利根俳句会	雑誌閉架		
	9	埴<2012年3月号まで>	隔月	永年	ポエム・ビル	雑誌閉架		
	10	ももんが<2007年1月号まで>	月刊	永年	乙骨書店	雑誌閉架		

令和3年度 新聞リスト

本館

1	朝日新聞	8	The Japan Times
2	埼玉新聞	9	毎日新聞
3	産経新聞	10	毎日小学生新聞
4	週刊読書人	11	読売新聞
5	スポーツニッポン	12	読売中高生新聞
6	東京新聞	13	朝日中高生新聞
7	日本経済新聞		

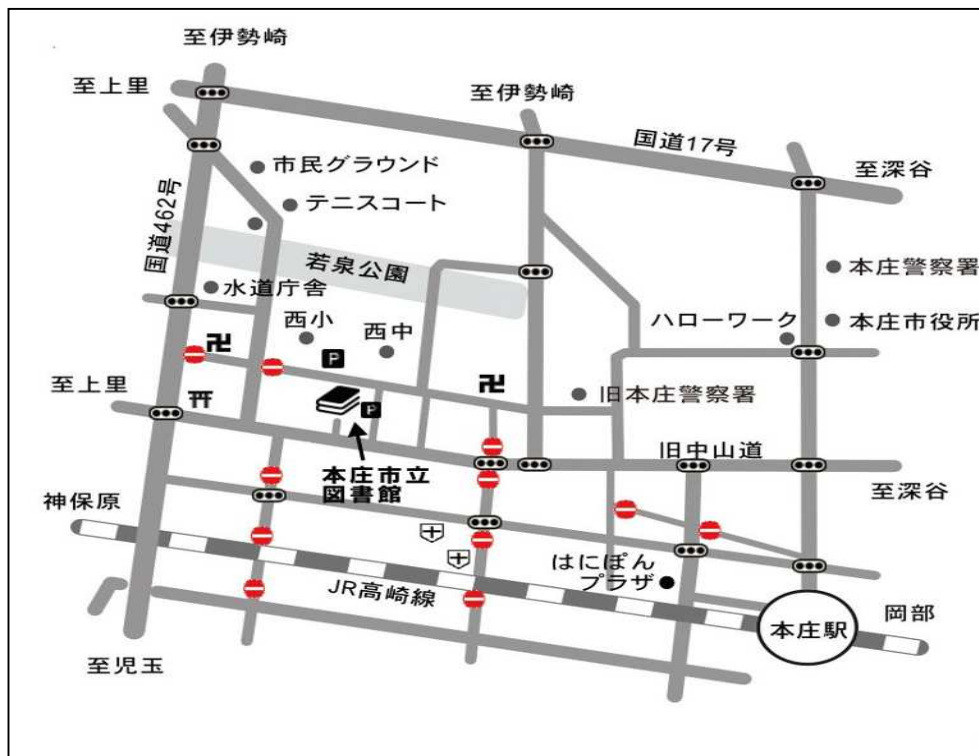
児玉分館

1	朝日新聞
2	埼玉新聞
3	産経新聞
4	スポーツ報知
5	日本経済新聞
6	毎日新聞
7	読売新聞

※ 新聞の保存期限は1年間です。朝日新聞・埼玉新聞は縮刷版を所蔵しています。

図書館案内図

○本館



○児玉分館



○本庄市立図書館設置及び管理に関する条例

平成18年1月10日

条例第89号

改正 平成24年3月28日条例第13号

平成27年6月30日条例第28号

平成28年9月28日条例第29号

(設置)

第1条 市民の文化、教養、調査研究、レクリエーション等に資するため、図書館法（昭和25年法律第118号。以下「法」という。）第10条の規定に基づき、本庄市立図書館（以下「図書館」という。）を設置する。

2 図書館に分館及び巡回図書館を置くことができる。

(名称及び位置)

第2条 図書館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
本庄市立図書館	本庄市千代田4丁目1番9号
本庄市立図書館児玉分館	本庄市児玉町金屋728番地2

(休館日)

第3条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下この項において「休日」という。）に当たるときは、その日の直後の休日でない日）

(2) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日までの日

(3) 館内整理日として12月を除く毎月末日（その日が日曜日、土曜日若しくは休日又は第1号に規定する休館日（以下この号において「休館日等」という。）に当たるときは、その日の直後の休館日等でない日）

(4) 特別整理期間（毎年2週間以内で本庄市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が定める期間）

2 教育委員会は、前項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、臨時に休館日を定め、又は休館日に開館することができる。

(利用時間)

第4条 図書館の利用時間は、午前9時30分から午後6時15分までとする。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(利用の制限)

第5条 利用者が次の各号のいずれかに該当するとき、その他管理運営上支障があるときは、図書館資料及び施設の利用を禁止することができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 営利活動を目的とするとき。

(3) 公の秩序又は善良な風俗を乱したとき。

(損害賠償)

第6条 利用者は、自己の責めに帰すべき事由により、次の各号のいずれかに該当したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(1) 図書館の資料を亡失し、又は毀損したとき。

(2) 図書館の施設を滅失し、又は損壊したとき。

(職員)

第7条 図書館に館長並びに教育委員会が必要と認める専門的職員及び事務職員を置く。

(図書館協議会)

第8条 法第14条の規定に基づき、図書館に本庄市立図書館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は8人とし、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

3 委員の任期は2年とする。ただし、委員に欠員が生じたときの補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第9条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成18年1月10日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の本庄市立図書館条例（平成12年本庄市条例第9号）又は児玉町立図書館の設置及び管理に関する条例（平成7年児玉町条例第18号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、それぞれこの条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則（平成24年3月28日条例第13号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成27年6月30日条例第28号）

この条例は、平成27年11月4日から施行する。

附 則（平成28年9月28日条例第29号）

この条例は、平成29年1月21日から施行する。

○本庄市立図書館運営規則

平成18年1月10日
教育委員会規則第21号

改正 平成18年10月3日教委規則第41号
平成22年1月21日教委規則第1号
平成28年4月22日教委規則第8号

(趣旨)

第1条 この規則は、本庄市立図書館設置及び管理に関する条例（平成18年本庄市条例第89号）第9条の規定に基づき、本庄市立図書館（以下「図書館」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(事業)

第2条 図書館は、図書館法（昭和25年法律第118号）第3条に掲げる事業を行う。

(入館者の心得)

第3条 入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 所定の場所以外に図書館資料を持ち出さないこと。
- (2) 館内においては、静粛にし、他人に迷惑をかけること。
- (3) 所定の場所以外で喫煙及び飲食等をしないこと。

(館内利用等)

第4条 館内において図書館資料及び施設を利用しようとする者は、係員の指示に従うとともに、資料の利用にあつては所定の場所で利用するものとする。

(館外貸出し)

第5条 図書館資料の貸出しを受けられる者は、本庄市、深谷市、美里町、神川町及び上里町内に居住し、又は市内に通勤し、若しくは通学する者とする。

2 図書館資料の貸出しを受けられる団体は、市内の学校、事業所、機関及び団体（以下「団体等」という。）で構成員10人以上の団体等とする。

3 前2項の規定にかかわらず、館長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(利用カードの交付等)

第6条 前条の規定による館外貸出しを受けようとするものは、利用申込書を館長に提出して利用カードの交付を受けるとともに、利用の都度係員に提出するものとする。

2 利用カードの登録事項に変更があったとき、又は紛失し、若しくは毀損したときは、直ちにその旨を申し出て、訂正又は再交付を受けるものとする。

3 交付を受けた利用カードは、他人に貸与し、又は譲渡してはならない。

(資料の貸出し制限)

第7条 図書館で指定した図書館資料は、館外貸出しはしないものとする。ただし、館長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(貸出数及び期間)

第8条 図書館資料の貸出数及び期間は、次のとおりとする。

区分		貸出数	貸出期間
図書、雑誌及び紙芝居	個人	10点以内	15日以内
	団体等	50点以内	1月以内
視聴覚資料		1点	15日以内

(複写)

第9条 著作権法（昭和45年法律第48号）第31条第1項第1号の規定に基づき図書館資料の複写を請求しようとする者は、次の表に定める金額を負担するものとする。

金額	単色刷り1枚につき 10円
	多色刷り1枚につき 20円
備考	1 用紙の大きさは、産業標準化法（昭和24年法律第185号）第20条第1項に規定する日本産業規格によるA3、A4、B4又はB5とする。 2 用紙の両面を使用する場合は、片面を1枚として金額を算定する。

(寄贈)

第10条 図書館に図書館資料を寄贈しようとする者は、資料の種類、名題、員数、住所及び氏名を館長に申し出て、承認を得た後現品を提出するものとする。

(寄託)

第11条 図書館資料の寄託については、前条の規定を準用する。

- 2 寄託資料は、図書館所有資料と同様に扱い、寄託者の要求又は図書館の都合を考慮の上返却するものとする。
- 3 図書館は、寄託を受けた資料が天災、盗難その他避けることのできない災害により受けた損害に対してその責めを負わない。

(移動図書館)

第12条 移動図書館は、市内を巡回して図書館資料の貸出し及びその他奉仕を行う。

- 2 移動図書館の利用については、第4条から第8条までの規定を準用する。ただし、貸出期間は、団体等への貸出しを除き、第8条の規定にかかわらず次の巡回日までとする。

(その他)

第13条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、本庄市教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成18年1月10日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行の日の前日までに、合併前の本庄市立図書館運営規則（平成12年本庄市教育委員会規則第5号）又は児玉町立図書館の設置及び管理に関する規則（平成7年児玉町教育委員会規則第7号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、それぞれこの規則の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則（平成18年10月3日教委規則第41号）

この規則は、平成18年10月3日から施行する。

附 則（平成22年1月21日教委規則第1号）

この規則は、公布の日から施行し、改正後の本庄市立図書館運営規則の規定は、平成22年1月1日から適用する。

附 則（平成28年4月22日教委規則第8号）

この規則は、公布の日から施行する。

○本庄市立図書館協議会会議規則

平成18年1月10日
教育委員会規則第23号

改正 平成30年6月26日教委規則第10号

(趣旨)

第1条 本庄市立図書館協議会（以下「協議会」という。）の会議は、この規則の定めるところによる。

(委員長及び副委員長)

第2条 協議会に委員長1人及び副委員長1人を置き、委員のうちからこれを互選する。

2 委員長は、会議の長となる。

3 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を行う。

(招集)

第3条 会議は、図書館長がこれを招集する。

(定足数)

第4条 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

(会議の公開の可否等)

第5条 協議会の会議は、公開とする。ただし、公正かつ円滑な議事の運営に支障が生じると認められる場合であって、出席した委員の3分の2以上の多数で議決したときは、非公開とすることができる。

(会議の開催の事前公表)

第6条 協議会は、会議が開催される日の7日前までに、次に掲げる事項を記載した会議の開催予定を市のホームページにより公表するものとする。ただし、会議を緊急に開催する必要が生じたとき等やむを得ない場合は、この限りでない。

(1) 開催日時

(2) 開催場所

(3) 議題

(4) 傍聴人の定員及び傍聴の手続

(5) その他周知が必要な事項

(会議の傍聴等)

第7条 会議の公開は、会議の傍聴を希望する者に、当該傍聴を認めることにより行う。

2 協議会は、会議を傍聴する者に会議資料を提供するものとする。ただし、会議資料が貴重、高額、大量である等提供することが困難であるときは、当該会議資料を、会議が終了するまでの間、当該会議を行う場所に据え置き、閲覧に供することにより提供に代えることができる。

(通知)

第8条 会議に付議すべき議題は、あらかじめ委員に通知するものとする。

(表決)

第9条 議題に対し表決の必要ある場合には、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長がこれを決定する。

(会議録等の公表)

第10条 協議会は、会議録を作成し、会議資料とともに議決により非公開とした部分を除

いた上で、市のホームページにより公表するものとする。

(庶務)

第11条 協議会の庶務は、教育委員会図書館において処理する。

(委任)

第12条 この規則に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、協議会が別に定める。

附 則

この規則は、平成18年1月10日から施行する。

附 則 (平成30年6月26日教委規則第10号)

この規則は、公布の日から施行する。

○図書館協議会委員

(任期 令和5年4月30日まで)

職 名	氏 名	選 出 区 分
委 員	永 尾 路 子	学 識 経 験 者
委 員	田 邊 晶 子	家 庭 教 育 向 上 活 動 者
委 員	中 田 守	学 校 教 育 関 係 者
委 員	西 田 真 吾	学 校 教 育 関 係 者
委 員	都 丸 幸 子	社 会 教 育 関 係 者
委 員	宮 塚 智 子	家 庭 教 育 向 上 活 動 者
委 員	安 村 名 央	社 会 教 育 関 係 者
委 員	図 師 喜 恵	公 募



令和3年度 図書館要覧

令和3年9月発行

編集・発行 本庄市立図書館

〒367-0054 本庄市千代田4-1-9

電話 0495-24-3746

FAX 0495-24-3718